

# 消防学校だより

## 令和5年1・2月号

発行年月日 令和5年2月28日  
発行 宮崎県消防学校

### 中級幹部科 入校

1月12日(木)から1月20日(金)で第35期中級幹部科研修を実施しました。

研修には、県内消防局・消防本部から18名の学生が入校し、中級幹部職員としての心構え、消防財政や指揮など総合教育訓練を実施しました。



宮崎市 濱砂 貴志	日南市 水元 貴弘
宮崎市 那須 治	日南市 谷元 美博
都城市 宮之原 弘規	日南市 田中 祐輔
都城市 中原 寛幸	西諸広域 長崎 紀仁
延岡市 織田 智之	西諸広域 今西 光輝
延岡市 高木 優成	西都市 今井 大介
日向市 金丸 義史	西都市 井上 貴裕
日向市 中田 忍	東児湯 小倉 進一
日南市 榊田 修	西臼杵 町川 雄一郎

※太字は総代

### 中級幹部科 財政講義

1月13日(金)、自治体の予算の仕組みについて、県市町村課 財政・地方債担当の谷口 俊宏 主幹から講義していただきました。幹部職員として消防財政を理解し、消防組織の運営に必要な予算の流れを学びました。

施設運営、部隊運用や資機材購入など、すべてに予算は絡みます。

消防財政を理解し、より良い組織づくりをしてください。



### 中級幹部科 惨事ストレス

1月18日(水)、惨事ストレスとデフュージングについて 総務省消防庁緊急時メンタルサポートチームの 首藤 啓介先生から講義していただきました。

自らの心のケアも大切ですが、幹部職員には部下職員に対しての配慮も求められます。

心の傷は目に見えない分、気づきを大切にしましょう。



### 中級幹部科 指揮訓練

指揮シミュレーション訓練を実施しました。



中級幹部科は1月20日(金)に修了しました。

## 警防・特殊災害科 入校

2月1日(水)から2月17日(金)で、第31期警防・特殊災害科研修を実施しました。

県内消防局、消防本部から11名の学生が入校し、警防活動及び特殊災害活動について専門的教育訓練を実施しました。



都 城 市 吉 国 智 哉  
都 城 市 東 晃 生  
延 岡 市 高 橋 隆 徳  
延 岡 市 宇 和 田 健 嗣  
日 向 市 松 尾 圭 将  
日 向 市 松 葉 幸 大  
日 南 市 藤 本 稜  
西 諸 広 域 福 留 健 志  
西 諸 広 域 笠 掛 誠  
東 児 湯 内 山 田 健 志  
西 白 杵 高 見 慎 吾

※太字は総代

## 警防・特殊災害科 電気災害

2月2日(木)、電気災害について、九州電力送配電株式会社の井上 大輔氏、上永 裕之氏から講義していただきました。本校内の設備を見ながら、電気設備の基礎知識と、消防活動要領及び電気災害時の安全管理について学びました。



## 警防・特殊災害科 消防車両の諸元

2月3日(金)、消防車両の諸元及び取扱い・整備について、株式会社モリタ福岡支店の栗山 祐輝氏から講義していただきました。車両構造、ポンプ構造をしっかりと理解し、適切な整備を行うことにより、過酷な運用に耐える車両の長期運用に繋げましょう。



## 警防・特殊災害科 検索救助訓練

2月6日(月)、検索救助訓練を実施しました。

火災現場における活動方針は、人命救助最優先、延焼阻止となります。

要救助者がいた場合には隊員の安全管理を徹底した上で、消防力を最大限に活用し人命救助に当たることが我々の使命です。安全・確実・迅速に活動できるよう手順の確認を行いました。



## 警防・特殊災害科 原子力について

2月6日(月)、九州大学大学院工学研究院 エネルギー量子工学部門 出光 一哉教授から原子力について講義していただきました。

放射線と放射能の違いや、放射線の人体への影響、種類及び放射線防護の三原則、放射能災害用資機材の説明など、内容の濃い講義となりました。





## 警防・特殊災害科 AFT

2月7日(火)、8日(水)の2日間で、佐賀県消防学校のAFT施設を借用し、訓練を実施しました。コンテナハウスで天井ジェット、ロールオーバーなどの燃焼現象を確認し、注水による熱成層の崩壊で受傷する危険性を再認識した後、建物火災消火訓練施設(後述AFT)にて注水訓練、検索訓練などを行いました。AFT施設は、幾通りもの訓練シナリオ設定が可能であり、火災発生、停止を瞬時に行うことができるとともに、訓練環境を監視し、異常時には自動又は手動で瞬時に緊急停止できるなど、訓練、安全管理両面において有効な施設でした。

### コンテナハウス燃焼実験



AFT施設

監視窓から内部の様子を確認



佐賀県消防学校の皆様

ありがとうございました。

## 警防・特殊災害科 指揮訓練

2月9日(木)、延岡市消防本部 長谷川 哲広司令補、高木 優成司令補から指揮訓練を行っていただきました。常に危険が潜む災害現場では、徹底した安全管理と、的確な指揮が必要です。指揮の基本パターンを学び、現場で安全な活動が行えるよう訓練しました。



## 警防・特殊災害科 BC 災害対応訓練

2月10日(金)、宮崎市北消防署東分署 大羽 貴一郎司令補からBC災害対応について講義していただきました。BC災害に対する基礎的知識と、過去事例などを座学で学んだ後、硫化水素が発生した現場を想定した実働訓練を行いました。





## 警防・特殊災害科 災害救助犬について

2月13日(月)、九州災害救助犬協会から 開田 宏 指導士をはじめ、4名の指導士と救助犬に來校いただき、災害救助犬について学びました。



## 警防・特殊災害科

### 宮崎県における地震発生メカニズム

2月13日(月)、京都大学防災研究所附属地震予知研究センター 海溝型地震研究領域 山下 裕亮博士から本県における地震発生メカニズムについて講義していただきました。この講義は、特別研修とし、県内の多くの消防職員にも聴講してもらいました。



## 警防・特殊災害科

### 警防活動に伴う安全管理について

2月16日(木)、宮崎市消防局 富田 司令補から、警防活動時における安全管理について講義していただきました。

安全管理教育は、学校、職場において実施されていますが、毎年、全国で消防職員の殉職者がでている現状の中、現場においてどうすべきかを学びました。



## 警防・特殊災害科 化学災害・テロ時における解毒剤自動注射器の使用に係る講習

2月15日(水)、化学災害・テロ時における解毒剤自動注射器の使用について学びました。解毒剤(アトロピン及びオキシム剤)の自動注射器を使用する場合の医師法上の解釈をしっかりと理解した上で、有事の際、適切に対応ができるよう訓練しました。



## 警防・特殊災害科 学生企画訓練

2月16日(木)、警防・特殊災害課程で訓練した内容をもとに、学生企画訓練を実施しました。企画訓練は、想定班と実施班に分かれ、企画班は訓練計画や、想定を綿密に打ち合わせ、訓練実施計画書を作成し、実施班は、想定付与を受けた後、安全、迅速に的確な活動を行いました。訓練後は振り返りを行い、良い点、改善する点などについても意見交換を行い、充実した訓練となりました。

### C 災害対応訓練



### 消火訓練



## 自衛消防隊員研修

2月20日（月）から22日（水）の3日間で、自衛消防隊員研修1次、2次、3次を実施しました。

自衛消防の組織概要や、救急法や搬送法、119番通報訓練や起震車による地震体験、初期消火訓練及び暗  
中避難訓練などを行いました。火災等の災害がないことが一番ですが、有事の際に迅速な行動ができるよう  
に訓練しました。



1次入校生

2次入校生

3次入校生



## 外傷セミナー（JPTECプロバイダコース講習）

2月25日（土）、26日（日）の2日間でJPTECプロバイダコース講習を実施しました。

講習では、状況評価、気道管理、初期評価など観察、緊急処置のスキル習得や車外救出に関する実技を行  
った後、試験に挑みました。



## 3月の主な行事

○初級幹部科

3月6日（月）～3月17日（金）

○消防団員指揮幹部科

現場指揮課程後期

第3次 3月2日（木）、3日（金）

第4次 3月4日（土）、5日（日）

第5次 3月7日（火）、8日（水）

第6次 3月11日（土）、12日（日）

宮崎県消防学校

担当:伊豆元 優一(いずもと ゆういち)

電話:0985-56-0555 FAX:0985-56-1475

E-mail:shobou-s@pref.miyazaki.lg.jp